

アクアイグニス仙台に27億円

七十七銀など協調融資

仙台市若林区の東日本大震災の防災集団移転跡地で建設が進む温泉、農園、レストランの複合施設「アクアイグニス仙台」について、運営会社「仙台reborn」（青葉区）は6日、七十七銀行などが27億円を協調融資する契約を同行などと結んだ。合わせて七十七銀と日本政策投資銀行（政投銀）が出資するファンドと3億円の融資契約も締結した。

2022年4月のオープンを目指す施設は、敷地面

積3万2500平方メートルに建物6棟と農業ハウス3棟を整備する計画。運営会社は建設業の深松組（青葉区）



アクアイグニス仙台の成功に向けて融資を締結した深松社長（中央）と金融機関の関係者

など3社で設立された。

協調融資は七十七銀が主幹事で、商工中金と仙台銀行が加わる。融資は一定期間に数回に分割して実施する方式を取り、融資期間は25年。運営会社は設備資金などに充てる。七十七銀と政投銀の「みやぎ地域価値協創ファンド」は、複合施設の建設資金を融資する。

青葉区の七十七銀本店で、6日あった契約締結式で、運営会社の深松努社長は「津波で浸水したエリア全体で盛り上げる仕組みを考えたい」と話した。七十七銀の鈴木広一常務は「人とお金の流れが生まれ、経済の循環ができる。震災復興の象徴的な事業になる」と融資の狙いを説明した。

とうほく

経済

七十七銀行らと融資契約

22年4月完成のアクアイグニス仙台

台
reborn



(中央)ら
融資契約する深松社長

深松組(仙台市・深松
努社長)を中心に設立し
た仙台reborn(深
松努社長)は6日、仙台
市若林区藤塚の東日本大
震災仙台市防災集団移転
跡地に建設計画を進めて
いる複合施設「アクアイ
グニス仙台」の事業に伴
い、七十七銀行と商工組
合中央金庫、仙台銀行と
27億円の協調融資契約を
締結した。併せて、七十七
銀行と日本政策投資銀行

が出資するファンドと3
億円の融資契約も結んだ。
仙台市の七十七銀行本
店で行われた締結式に
は、深松社長、鈴木広一
七十七銀行常務、高田佳
幸日本政策投資銀行東北
支店長らが出席。調印後、
深松社長は「施設完成後
は、東北学院大学教養学
部地域構想学科教授の柳
井雅也ゼミの学生に参加
してもらい、若い感性を
活かしてイベントなどを企
画していきたい」とあい
さつ。鈴木常務は「地域
経済活性化の起爆剤とし
てコンサルティング力を
最大限に発揮したい」と

語った。
アクアイグニス仙台
は、仙台市の防災移転跡
地利活用事業として選定
され、敷地3万4000
平方メートル、農園レストラ
ン、ベーカリー棟、地元
食材のマルシェ棟、天然
温泉を利用する温浴棟な
どを整備する。設計監理
はARTS設計(三重
県)、BAU建築設計室、
深松組一級建築士事務
所。施工は深松組を中心
に、木造部分については
阿部和工務店・中城建設
JVが請け負う。総事業
費は約30億円。22年4月
の開業を目指す。

仙台reborn 七十七銀行などと融資契約 アクアイグニス仙台に

仙台reborn（深松努代表取締役）は、同社が建設する複合施設「アクアイグニス仙台」を対象に、七十七銀行を主幹事とする協調融資ならびに同行・日本政策投資銀行が共同出資している「みやぎ地域価値協創ファンド」による融資契約を締結した。

アクアイグニス仙台は、仙台市若林区藤塚地区に温泉棟やマルシェ棟などを備えた複合施設。運営は、三重県内で温泉リゾートを展開するアクアイグニス（東京都中央区）と深松組などが共同出資して設立した仙台rebornが手掛ける。現在、全棟合わせて延べ7850平方

メートル規模で建設しており、2022年4月のオープンを目指している。

この契約は、アクアイグニス仙台へ七十七銀行・商工中金・仙台銀行が27億円を協調融資するほか、みやぎ地域価値協創ファンドが建設資金3億円を融資するもの。協調融資の期間は

25年で、期間内に数回に分割して実施される。仙台市の七十七銀行本店で開かれた締結式で深松代表は「東日本大震災からの復興の集大成と位置付けており、県内沿岸部の他施設と連携するなど皆でにぎわいをつくっていききたい。オープンに向けお客様に愛される施設にしていきたい」と語った。

また、七十七銀行の鈴木広一常務取締役は「本プロジェクトは地域活性化の起爆剤になると期待している。融資以外でもお手伝いしていければ」と述べた。



融資を締結した深松代表（中央）と金融機関関係者ら